


## 現在進んでいる大型事業

**広域道の駅整備**  
約 12億3,000万円



久慈広域の観光・交流拠点となる広域道の駅の整備を、広域4市町村で進めています。現在、施設への導入機能を検討中です。  
※事業費は土地・備品費を除く概算

**久慈駅前整備**  
約 22億5,000万円



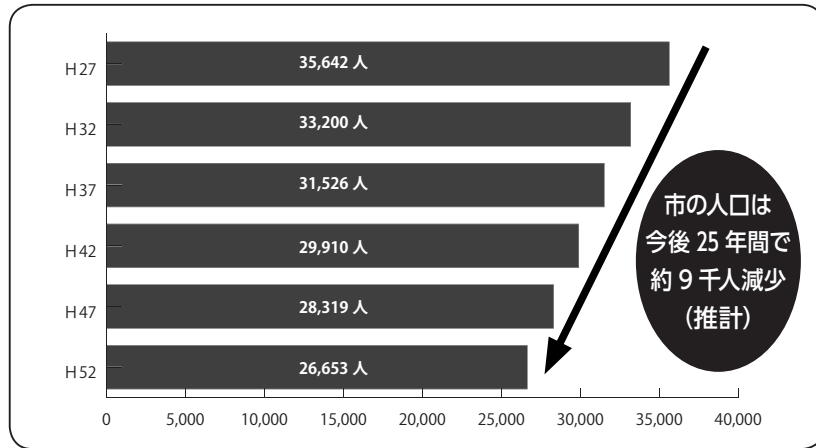
久慈駅前広場や図書館・観光交流センター・カフェを含む複合施設を整備します。駅前広場は本年度完成予定。複合施設は、本年度着工し、来年度完成予定です。

**総合防災公園整備**  
約 32億5,000万円

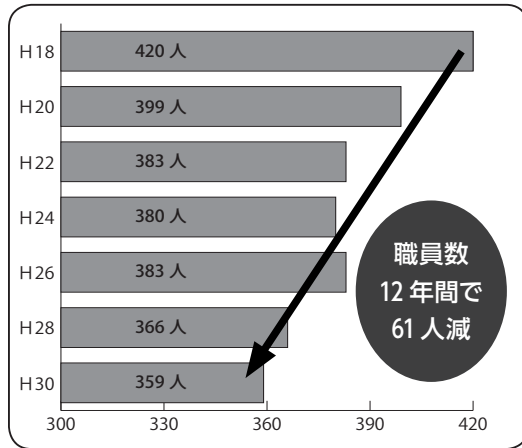


災害時の被災地域の支援・復旧活動拠点となります。本年度、旭町～夏井町を結ぶ園路と多目的広場の一部が完成します。全体の完成は、来年度の予定です。

## 人口推計 (久慈市人口ビジョン)



## 職員数 (各年度4月1日現在)



## 健全化判断比率

指標	内容	結果	早期健全化基準※
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	13.11%
連結実質赤字比率	一般会計のほか、特別、企業会計も含めた全会計の赤字割合	赤字なし	18.11%
実質公債費比率	市の平均的な年間収入に対する借金返済額の割合	13.9%	25.00%
将来負担比率	市の平均的な年間収入に対する将来に負担が見込まれる借金の割合	120.1%	350.00%
経常収支比率	義務的経費を市税や地方交付税など毎年入ってくる財源で割った数値。財政力の弾力性を示す数値	92.7%	※早期健全化基準ではありませんが80%超えると財政が苦しい状態とされています。

※この基準を超えると国の定めに従い、健全化に向けた取組みが必要となります。

### 詳しくはこちら

#### 財政状況の公表

平成29年度決算、平成30年度上半期の予算の執行状況を詳しく公表しています。 図財政課 ☎52-2113



#### 久慈市公共施設等総合管理計画

公共施設全体を分析し、更新・統廃合・長寿命化など、施設の今後の在り方をまとめました。 図財政課 ☎52-2113



### 国の基準を満たす状況

自治体の財政状況を図る指標として、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率、経常収支比率などがあります。各指標の内容は上記表のとおりです。冒頭に述べたように、当市の財政状況は、国の定めた基準を下回る結果となっているので問題はありません。事業の繰越しなどの影響もありますが、平成29年度の健全化判断比率を見ると、この10年間で実質公債費比率は3%、将来負担比率は85%改善されています。

年度)には2万6653人まで減少すると予測されています。人口が減少すると、財源の核である市税などが減少してしまいます。市では子育て対策、移住・定住促進などを強化し、人口減少にブレーキを掛けられるように努めています。

### 今後増加していく歳出

人口は減少していきませんが、公共施設は老朽化し、更新が必要となります。当市の公共施設は全部で205施設。すべての公共施設と道路や橋などのインフラ資産を、現在と同規模で更新する場合、年間約60億円の費用がかかる試算です。現在の更新費は年間約35億円なので、約1.7倍の更新費用が必要となります。この試算をもとに考えると、全ての施設を同じ規模で更新するには、他のさまざまな住民サービスを中止することになりかねません。財政の健全化、皆さんの暮らしをまもるためにも、施設の統合や廃止、長寿命化を含め計画的に公共施設の更新問題に取り組む必要があります。

### 今後減少していく歳入

当市の平成27年度の人口は3万5642人。市が作成した久慈市人口ビジョンでは25年後の平成52年度(2040

## 久慈市の財政を守るには 皆さんの力が必要!

### 限られた財源の中で

財政の健全化に向けて、市としてもこれまで行政改革を積極的に進め、職員数削減による人件費の削減や普通建設事業の削減などを行ってきました。そのような中でも、限られた財源の中で、医療費助成拡充や保育料軽減、学童保育所整備などの子育て環境の充実。福祉事業や地域づくりの振興に関する事業にも力を入れています。

また、市がさらに発展・飛躍するように、久慈駅前整備や広域道の駅などの大型事業も進めています。どの事業も大きな事業費ですが、建設には有利な財源を活用し、財政への負担を軽減させています。

### 皆さんと一緒に考える久慈市の未来

これまで述べてきたように、市では限られた財源の中で、最大限の住民サービスを提供するように努めてきました。

しかし、今後、人口減少や施設の老朽化などにより、財政状況が厳しくなっていく中、今までと同じようにお金をかけ、同じようなサービスをやっていくのは、難しくなっています。そこで重要なのは、減少していく財源の中でいかに皆さんに必要なサービスを選択し、行っていかかです。皆さんと一緒に本当に必要なものを考え、優先順位をつけていかなければ、暮らしやすい久慈市を維持していくことができません。市では「子どもたちに誇れる笑顔日本一のまち久慈」を目指し、対話型の市政に取り組んでいます。皆さんのご意見を伺うため「ふれあいトーク」や「市政懇談会」を実施しています。皆さんの思いを聞かせてください。これからの市政運営には皆さんの知恵や力が必要です。一緒に久慈市の未来を考えていきましょう。